台湾夏期英語/華語・台湾文化研修報告

農学部 植物生産環境科学科 2年 中川華菜

〇派遣: 開南大学

○派遣期間: 平成28年8月15日~平成28年8月30日

〇渡航時の学年: 2年次

○渡日前の手続について

・参加に至った経緯について:

まだ訪れたことのない国に行ってみたかったから。参加費が他のプログラムに比べ、安かったから。

・渡航に関する手続について:

航空券の手配、パスポートのコピー、保険の手続き

•査証取得:

なし

★体験記:

このプログラム全体の流れとしては、午前中は授業があり、お昼は学校から支給されるお弁当を食べ、午後からは自由時間という形だった。それと2回の日帰り旅行と1泊2日の旅行が1回あった。私は中国語を全く話せないので台湾で生活できるか不安だったが、台湾の学生のしっかりとしたサポートのおかげで不自由することはなっかた。また、台湾の学生とコミュニケーションをとるうえで、中国語や台湾語の簡単な単語、フレーズを学んだ。

〇生活費:

渡航費:26.000円

文化体験費:55,000円(18,000台湾ドル)

食費+移動費+買い物:約40,000円(13,000台湾ドル)

○大学のサポート状況∶

台湾の学生はみんな日本語が上手なので、困ったことがあればすぐ助けてくれた。

〇授業の様子:

英語クラスを受講しました。先生はネイティブの方で、毎回面白い授業をしてくださった。授業は すべて英語でおこなわれるのでついていけない時もあったが、台湾の学生が日本語でサポートしてくれた。

〇他の留学生たちの様子:

宮崎大学以外に約20校の日本の大学から全部で90人ほどの日本人が参加していた。台湾人の 友達だけでなく、日本のいたるところ友達ができてよかった。特に関西の大学が多く関西弁で賑わっていた。

〇現地学生との交流:

授業中と部屋にいる時以外は常に台湾の学生と一緒で、私たちがこのプログラムを楽しめるよう にと同じ寮に泊まり込みでお世話してくれた。寮ではトランプをしたり、夜ご飯は一緒に夜市に行っ たりした。

〇街の様子:

大学周辺にはコンビニが2つと飲食店が少しある。朝食は100円(30台湾ドル)ほどでとても安くよく食べに行っていた。

交通手段はタクシーかバスを使っていた。台北に行く時は桃園駅までタクシーで行き、それから 電車に乗り換えた。現地の学校からもらう学生証に IC カードの機能がついていて、切符を買う必要がなく便利だった。

台湾にはいたるところに夜市があり、夜はとても賑やかだった。屋台の商品は安く、おいしかった。同じ料理でも美味しい店、そうでない店があり、比べて楽しみました。

〇その他:

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

台湾はトイレットペーパーがない、もしくは紙があっても流すことができないため、水に流せるティッシュを多めに持っていく方がよいと思います。

大学



発表会の様子



夜市の様子







食べ物











ホテル



九分



お祭り



お寺

